	<h2>「盲導犬(アイメイト)って知ってる？」を開催</h2> <p>～視覚障害者を支える大切な存在！体験歩行でアイメイトを知ろう～</p>
---	--

と き	5月21日（木）午前9時～午後5時 5月22日（金）午前9時～午後4時
-----	--

と こ ろ	練馬区役所 本庁舎1階アトリウム（豊玉北6-12-2）
-------	-----------------------------

21日、アイメイトの育成・啓発に取り組んでいる公益財団法人アイメイト協会（代表理事：塩屋 隆男）が、練馬区役所で啓発イベント「盲導犬（アイメイト）って知ってる？」を開催した（練馬区後援）。区は国産盲導犬の発祥の地であり、区役所における啓発イベントの開催は今年で9回目。22日午後4時まで開催。

アイメイトが視覚障害者の社会参加や日常生活を支える不可欠な存在であること、アイメイトと視覚障害者が街を自由に歩けるようになるには様々な訓練が必要なことを知ってもらうことが目的。パネル展示のほか、アイマスクをつけてアイメイトとフロアを歩く体験歩行ができる。



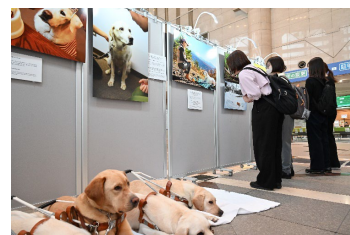
▲体験歩行の様子

同協会の大橋 徹常務理事は、「いまだアイメイトの入店を拒む店舗や、アイメイト使用者やアイメイトを無断で撮影しSNSに投稿する人がいる。こうした行為は人権に関わるということを広く知ってもらえるよう取り組んでいきたい」と話している。

区は、本展の会場提供のほか、アイメイトの実践訓練の場として区役所庁舎の提供や区報で同協会の記事を掲載するなど協力している。アイメイトとの歩行を体験した吉田 健一区長は「初めて体験したが、アイメイトを信頼して歩くことができた。区としても、アイメイトや協会の活動を広く知ってもらえるよう取り組みたい」と話していた。

【事業内容】

- ① DVD放映
アイメイト協会の概要説明、アイメイト使用者の生活
- ② パネル展示
アイメイトの歴史や訓練風景など
- ③ 質問コーナー
- ④ 体験歩行（午後3時まで随時実施／対象は小学4年生以上）
来場者がアイマスクをして、アイメイトと一緒にフロアを歩く。
希望者が多い場合は、整理券を配布。
- ⑤ アイメイトサポートグッズの販売（売上げは、アイメイト育成のために寄付）
- ⑥ 写真展示
リタイア犬「マルコ」の穏やかな日々。
毎日小学生新聞社賞を受賞した作品の一部を展示。



▲パネル展の様子

【アイメイト協会】

本部：練馬区関町北5-8-7 代表理事：塩屋隆男

区内においてアイメイトの育成訓練と、アイメイトを使用する視覚障害者の歩行指導に取り組んできた団体。昭和23年、創設者塩屋賢一氏（故人）が盲導犬育成を志し、目隠しの生活を体験しながら盲導犬の育成方法を試行錯誤で始めた。昭和32年に完成した国産盲導犬第1号チャンピイは同協会の草創期に訓練したもので、同協会創設の塩屋賢一氏は「盲導犬の父」と呼ばれている。

令和8年4月25日現在、1,494組のアイメイトと視覚障害者のペアが同協会から日本全国に巣立っている。

【問合せ】

練馬区 障害者施策推進課 管理係

電話 03-5984-4598

公益財団法人アイメイト協会

電話 03-3920-6162

※ 本イベント以外にも、協会の活動や課題等についても、ご説明します。ぜひ、お問い合わせください。